

2013年1月23日
 日本興亜損害保険株式会社
 特定非営利活動法人パブリックリソースセンター

「日本興亜・東北『社会起業家』応援ファンド」支援対象者の採択結果について
～支援総額は1,700万円を予定～

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮雅也、以下「日本興亜損保」）と特定非営利活動法人パブリックリソースセンター（代表理事：久住剛）は、共同で創設した「日本興亜・東北『社会起業家』応援ファンド」において、支援対象者を決定しましたので、お知らせします。

本ファンドは、日本興亜損保が実施したお客さまの「Eco-Net約款」等のご利用に応じた義援金の寄付をもとに実施するもので、内閣府の「復興支援型地域社会雇用創造事業」等、様々な被災地支援の取組の成果と連動を図り、被災地の地域課題の解決と真の復興に寄与することを目的としています。本ファンドには79件の応募があり、「社会性」「事業性」「地域への波及効果」の観点から選考委員会にて厳正な審議を行った結果、被災地の復興を目指す11名の社会起業家を支援対象者として採択しました。

2013年12月までの1年間、助成金やコンサルティングサービスの提供などにより、新たな社会的事業が軌道に乗るよう継続的な支援を行ない、その支援総額は1,700万円を予定しています。

（注）社会起業家とは、ビジネスの手法を使って社会の課題を解決するための事業を起こす人を指します。

■支援対象者（敬称略、50音順）と事業概要

氏名	起業地	事業概要
赤坂 智子	宮城県石巻市	独自の手織り機を使った作品の製作・販売を通じた生きがいと信頼できる仲間づくり、雇用の創出
秋山 弘美	福島県郡山市	震災で被害を受けた縫製工場や工房と連携して、独自の服飾ブランドを立ち上げ、地元雇用を促進（ALOHAプロジェクト）
磯脇 賢二	宮城県仙台市	事業系二重ローン問題の解決を支援し、被災地における事業再開と雇用の確保
大橋 雄介	宮城県仙台市	被災地における経済的余裕のない子どもたちに、eラーニングとエンパワメントによる低価格の“学びの場”を提供
久保田 靖朗	宮城県七ヶ浜町	道の駅(SEVENS HEAVEN STATION)づくり。若者が集う街づくりで被災地を活性化
佐々木 真	宮城県石巻市	民家型デイサービス事業。被災地における介護問題の解決と地域コミュニティの拠点を目指す
西本 芳浩	宮城県山元町	原発被害から避難している子どもたちへの教育支援。低価格の学習塾（寺子屋）を開設
深尾 尚子	宮城県石巻市	被災した三陸の水産加工業者と連携し、消費者が購入しやすい商品としてパッケージング販売
松本 俊彦	宮城県石巻市	被災企業に対する販路拡大、商品販売を支援することで、石巻の産業を復興
三井 俊介	岩手県陸前高田市	都会の若者と陸前高田市広田町の方々との交流の場をつくるなどして、被災地を活性化
向田 麻衣	宮城県石巻市	ネパール製ナチュラル化粧品の販売拠点を石巻に設け、被災地の雇用創出と途上国支援

■選考委員（〇印委員長）

- 木山 啓子（NPO法人JEN 理事・事務局長）
- 〇中村 陽一（立教大学21世紀社会デザイン研究科 教授）
- 紅邑 晶子（NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事）
- 嶋田 行輝（日本興亜損害保険株式会社 経営企画部CSR室長）

以上

